

# 株式会社トヨタコミュニケーションシステム

- 所在地 名古屋市
- 業種 ソフトウェアの開発・保守
- 従業員数（H24.9.30現在） 男性896人、女性229人



## トップから一言

代表取締役社長 吉見 淳一 氏



少子高齢化が進む中、社会全体での子育て支援が必要な時代となっています。その中で企業がすることは「育児と仕事の両立支援のための制度を充実させ、社員が活躍できるフィールドを用意すること」であり、社員には、育児と仕事をしっかり両立し、働きがいを持って自分のキャリアアップに努めてほしいと思います。

これからも会社の財産『人財』である社員が、幸せに笑顔で働ける企業であり続けるよう、制度の拡充とともに、社員が制度を積極的に利用できるよう推進してまいります。

## 両立支援の取組

育児をしながら働ける環境作りのため、会社創立時（2001年）より法を上回る制度を導入し、制度の周知や更なる拡充を目指した取組みを行っております。また、社員と家族と一緒に参加できるイベントを行い、社員だけでなく、家族もハッピーになれる企業を目指し、今後も両立支援活動に取り組んでまいります。

- ・法を上回る制度（育児休職、育児短時間勤務、子の看護休暇、妻出産時の休暇）
- ・有給休暇の取得促進
- ・海岸清掃などの社会貢献活動や日帰り旅行などの社内イベントへの家族参加



海岸清掃の様子

## 男性育児休業者からの一言

ES1部企画G 主任 山口 正 氏  
取得日数（育児休業）：3ヶ月

6歳と2歳の兄妹の父親です。2006年、2010年、2011年の3回で、合計4ヶ月半ほど育児休業を取得しました。上司や同僚の理解もあり、休業中は仕事を気にすることなく、家事・育児に専念できました。また、今では、同僚も育休取得を検討したり、実際に取得したりと、男性の育休取得は特別なことではなくなりつつあると思っています。

この育休期間中に、家事・育児の大変さを改めて体験できたことで、その後の家事・育児への積極的な行動となり、家族で仲良く過ごせる今につながっていると思っています。なにより、子供と一緒に過ごせる、この限られた貴重な時間を、より多くの方に体験してもらいたいと思います。



# 株式会社トヨタコミュニケーションシステム

## 1. 認定を受ける対象となった一般事業主行動計画の内容

### 1. 計画期間

2009年4月1日から2012年3月31日までの3年間

### 2. 内 容

#### 目標1 母性保護制度の周知および相談窓口の整備

##### <対策>

- ①以前より継続 「産休・育休窓口」を社員に展開、質問や相談に対応
- ②2010年7月～ 妊娠週ごとに利用できる制度の一覧を母性保護／仕事と育児の両立の視点で作成し、社内イントラネットに掲載

#### 目標2 出産・育児に関する制度の周知徹底

##### <対策>

- ①以前より継続 社内イントラネットに出産・育児に関するマニュアルを掲載
- ②2010年1月～ 毎月19日の育児の日（定時帰宅デー）の案内時、育児関係の制度マニュアルをメール添付して配信

#### 目標3 年次有給休暇取得促進のための措置の実施

##### <対策>

- ①以前より継続 「3DV（3日連続有休取得）制度」の取得促進をメールで全社員に案内
- ②2009年6月～ 年休実績報告の内容を見直し、取得を促すメッセージを追加

#### 目標4 育児に関する制度拡充

##### <対策>

- ①2010年4月～ 「育児休業規則」の育児短時間勤務制度を見直し、小学校4年の始期まで利用できるように変更

#### 目標5 所定外労働時間の削減

##### <対策>

- ①2009年 4月～ 労使で「働き方分科会」を定期的で開催し、労働時間の削減について意見交換および対策を検討
- ②2011年10月～ 時間外労働月間45時間連続2ヶ月超過者に「勤怠調査票」を提出してもらい、状況改善希望の有無をヒアリング実施  
改善希望者には、各部署で対策を取ってもらうよう連絡

## 2. 計画期間中の育児休業等取得者数（男女別内訳）

男性4人 女性21人

## 3. 認定マークの活用事例（初めて認定を受けた企業においては活用予定事例）

名刺への印刷、採用ホームページへの掲載

